



TOKYO CHUO SHIN ROTARY CLUB 東京中央新ロータリークラブ週報

例会日 毎週月曜日(12:30~13:30)

会 場 帝国ホテル及びオンライン

会 長 清宮 普美代

幹 事 高橋 肇

事務局 〒104-0061 中央区銀座8-11-12 正金ビル2F

TEL 03-5537-0270 FAX 03-5537-0271

<http://blog.livedoor.jp/chuoshin/>

2020-2021年度 国際ロータリーテーマ 「ロータリーは機会の扉を開く」

合同例会報告 2020年10月22日(木)
東京中央ロータリークラブ 第1584回
東京中央新ロータリークラブ 第789回
対面&オンライン例会

出席率 73.21%

出席と接続会員数合計39名+メンバー2名
(正会員61名-休会5名)

I ガバナー懇談会 帝国ホテル3階富士の間

懇談会〈地区側出席者〉 *敬称略

第2750地区ガバナー 福原有一

銀座・日本橋グループ ガバナー補佐 時枝紀子

銀座・日本橋グループ グループ幹事 福元智子

懇談会① 東京中央新RC

10時30分~11時20分 錦の間

会長 清宮普美代

幹事 高橋肇

会長エレクト 富田洋平

懇談会② 東京中央RC

11時30分~12時20分 錦の間

会長 太田嘉正

幹事 立花実

会長エレクト 田中半一



II 2クラブ合同例会(3階 富士の間)

12時30分~13時30分

清宮普美代東京中央新RC会長 点鐘挨拶

皆様こんにちは!

本日は福原有一ガバナー、時枝紀子ガバナー補佐、福元智子グループ幹事にご来訪いただきまことにありがとうございます。今日は立派な鐘についてお話したいと思います。日本で初のロータリークラブの東京ロー

タリークラブが設立され今年で100周年となりました。日本のロータリー100周年実行委員会は、100周年記念の立派な鐘を各地区のために作り、本日ガバナーと共に会場に到着しており、本日点鐘させていただきます。

それでは100周年をお祝いすると共に、東京中央RC第1584回、東京中央新RC第789回合同例会を開催させていただきます。

ロータリーソング

(ソングリーダー:東京中央RC 太田智会員)

国歌「君が代」及び「奉仕の理想」

ご来賓の紹介(東京中央RC 太田嘉正会長)

- 第2750地区ガバナー 福原有一様
- 第2750地区 銀座・日本橋グループ
ガバナー補佐 時枝紀子様
- 第2750地区 銀座・日本橋グループ
グループ幹事 福元智子様



田中半一様 福原ガバナー訪問を心より歓迎します。
(東京中央RC)

清宮普美代会長 (東京中央新RC) 本日は、福原ガバナー、時枝ガバナー補佐、福元グループ幹事のご訪問をいただきありがとうございます。

上野由美会員 丸山さんのお着物着てまいりました。ひさしぶりにきてみましたが丸山さんに感謝!!

大盛敬子会員 ガバナーの卓話を楽しみにしております。

曽根章乃会員 古典文化鑑賞。歌舞伎にいつてまいりました。清宮会長以下5名。ナタリーさんをかこんで、楽しい(ひと)ときをすごしてまいりました。

富田洋平会員 本日は福原ガバナー よこそお越し下さいました。

にここご合計 14,000円



「バリアフリー・マインド (Barrier free Mind)」

2750 地区 2020 年度ガバナー
福原 有一 様



- 東京中央 RC、東京中央新 RC の皆さんこんにちは！

今年度ガバナーを拝命いたしました、東京銀座 RC の福原でございます。

私が気に掛けていた言葉に、東京中央 RC 出身の大槻元ガバナーの「奉仕の哲学を実践しよう」がありました。どういうことかと理解しようと思いましたが、丁度一昨年服部元ガバナーの「インスピレーションになろう」とのスローガンを拝見して、若干得心したところがございます。

今年1月20日から25日までアメリカのサンディエゴでガバナーの研修を受けて参りました。その帰国時に成田空港では、空港職員・各エアラインの職員らが全員白いマスクをしていました。どうしたことかと思いましたが、これが新型コロナウイルス、COVID-19でした。

実は中国の武漢で変なウイルスが流行っていて、それが日本に入ってくるのではないかということで、我々は防御しているのですと説明を受けました。その1週間後にニュースで、ダイヤモンドプリンセス号での集団感染が報告されました。これが日本国内へ拡大していくスタートとなりました。

そして、3月26日、IOCのバッハ会長が東京オリンピックを1年間延期したと報告されました。

4月7日には安倍総理大臣が緊急事態宣言を発令いたしました。約1ヵ月間、日本の経済はすべて止まりました。4月中旬の銀座は、人影も車も本当にまばらな閑散状態でした。私は銀座にもう50年位おりますけれど、こんな銀座は見たことがありませんでした。そして最後はアベノマスクです。皆さんのお手元にもアベノマスクが届いたと思いますが、なんとまだ8000万枚が倉庫に入っているとのこと。使った費用が503億円でしょ。その内容は今でもよくわかりません。そのまま葬られちゃうんじゃないかと心配になります。我々の払った税金だから、もうちょっと説明してほしいなと思っています。

- GO TOで9月19日から22日の4連休の観光地の賑わいはすごいもので、コロナというものが我々のところからもう去ってしまったかのような混雑。熱海、軽井沢、東名高速の大渋滞すごかったですよね。私も熱海に顔を出したのですが、これはいかんと帰りました。

10月にはいよいよGO TO キャンペーンが東京も加わり始まりました。トラベル、イートなどに加えて、

イベントも加わりました。

- 新型コロナウイルスの猛威で、欧州は2度目のロックダウンへ。フランス、イタリア、スペインなど。そしてトランプ大統領もコロナに感染し、3日間ですが入院してしまいました。そして出てきたら職務に復帰して動き廻っています。

日本では女性自衛官22人が感染するクラスターが発生しています。女性自衛官は昼間バーベキューをして皆でワーワー騒いで、夜はそのまま皆でカラオケに行ったというのです。

又、野球の千葉ロッテマリーンズでも集団感染が発生しています。当時首位のソフトバンクと2ゲーム差だったんですね。これから追い上げという時に11名の主力選手が感染し、それから負けが込んで今はもう追いつかない7ゲーム半の差がついてしまっています。

- ホルガー・クナック (Holger Knaack) RI会長テーマ「ロータリーは機会の扉を開く」

今年1月のガバナー研修で、クナック会長はロータリアンに最低以下の4つのことをお伝えしてほしいと言っておられました。

一つは革新的なクラブを作っていただきたいということ。

いままではクラブは地域が中心でした。これからはもっと革新的に、たとえば地球環境を考えるロータリークラブなど、事実ロータリーの友10月号でクナック会長が新しいクラブとして、「ソーシャルインパクトネットワークロータリークラブ」を紹介しています。オンラインで結んで、世界各地のロータリー学友たちを会員として活動する革新的なクラブです。

二つ目は、クラブの戦略会議です。自分たちの今の状況、さらに5年後どういう理想的なクラブになったらいいかということ会員全員で考えていただきたいということです。毎年5年後を一つの目標として再確認していくことです。

三つ目は、新会員についてです。ロータリーのことを真に理解してくれている人、会員の長年の友人たちを誘ってほしいということです。

四つ目は、ポリオ根絶です。もうちょっとです。去年、アフリカ大陸からポリオが消えました。これにはロータリーの支援が大きな力になったのです。しかし、残念ながら、日本のマスコミにはほとんど取り上げられませんでした。もう少しマスコミの方がロータリーに入っていれば違ったでしょうね。

- 今年度2750地区ガバナーテーマ「バリアフリー・マインド」

様々な障害や心身の特性・考え方を持つすべての人々が平等な立場で相互に理解を深めるべくコミュニケーションを絶えずとっていくこと。一言で申せば相手と同じ目線に立つということです。

・まとめ

ところで皆さん。ロータリーは本当に変化しています。不安な心持ちでサンディエゴに到着した私は、今回改めてそのことを実感いたしました。女性や若者の参加、若者への期待、新クラブの新設や既存クラブの強化、会員基盤や広報の強化、といった従来からの課題はもちろん、デジタル化の進展、環境意識の高まり、多様性のあり方、そしてなにより次の時代のロータリーをどう構築して行くのか、などなど実に様々なレベルで真剣な模索が続いています。

こうした個々の課題には、手頃な解決策や方法論がいつも用意されているとは限りません。むしろ、未解決の問題の方が多いのではないかとさえ感じます。それはガバナーである私とて同じ、クナークRI会長も同じでしょう。ただ、こうした真剣な模索を、皆で続けることが尊いのではないのでしょうか。

皆さん、これからの一年間、一緒に考えそして行動しましょう。「ロータリーの機会の扉」を「バリアフリー・マインド」で開けてみようではありませんか。どうぞ宜しくお願いいたします。

(要約文責 宮下)

例会報告 第790回 2020年10月26日(月)
オンライン例会

出席率 39.29% 接続会員数合計22名+メンバーキャップ0名
(正会員61名-休会5名)

❖開始(海渡千佳会員組織委員長)

皆様 オンライン例会を開催させていただきます。

(ご案内)

- ・表示名は漢字表記をお願い致します。
- ・お食事をしながらのご参加は問題ございません。
- ・例会中、画面から離席される場合、ビデオのオフをお願い致します。
- ・例会の様子を記録用に録画させていただきますので、予め個人情報の許諾をお願い致します。



❖開会点鐘(清宮普美代会長)

みなさん、先週の木曜日はガバナーの訪問おつかれさまでした。今日はナタリーさんのお話を聞く卓話なので、とても楽しみにしています。



土曜日もボリオデーで、ボサノバを聞いたりしました。いろいろ活動はいっぱいですが、皆さんと一緒に楽しみたいと思っています。

それでは第790回の例会を始めます。

❖ロータリーソング

- ・手に手つないで
- ・世界をつなぐロータリー(当クラブの歌)

❖幹事報告(高橋肇幹事)

- ・11月2日(月)は2階蘭の間で対面例会の予定です。理事会は11時00分から12時00分です。
- ・11月14日(土)に、毎年行っている画廊巡りの予定です。



❖ゲスト発表(安原良昭SAA委員長)

オンライン例会によろそおいで下さいました。

本日のゲストは、米山留学生のナタリー・パスカル様です。

❖国際大会報告(時枝紀子銀座・日本橋地区ガバナー補佐、清宮普美代会長)

(清宮普美代会長報告)

先日当クラブの姉妹クラブである台湾の牡丹RCの日本人会員村越さんと幹事を含めお話ししましたが、令和3年6月12日から15日の台湾の国際大会の際6月14日に当クラブと牡丹RCの合同例会を実施する方向で話し合っています。牡丹RCの林会長のご主人が地区のガバナーということもあって合同例会にとっても意欲

的です。

椎野前会長からも「行くのか泊まるのか、ブレがないようにしたらどうか」とのお話がありましたので、近日中に事務局から皆様に連絡していただきますのでよろしくお願い致します。

(国際大会のアピール動画 約5分流れる)

(時枝紀子ガバナー補佐報告)

皆さん国際大会の参加登録を早期に行いましょう。12月15日までに登録すると申込費用が安くなります。まだCOVID19でどうなるか分からないところはありますが、実施の場合クナークRI会長が2750地区大会に参加して下さるかもしれません。是非参加して皆で地区大会を盛り上げましょう。地区大会は参加者1000人を目指して準備しており、女性が多い当クラブは期待されています。



12月予定報告(海渡千佳会員組織委員長)

- 私は入会してすぐ野呂会員と国際大会に出て、いろいろな国のロータリアンと話せたので面白かったです。
台湾なら日帰りも出来るし、欧州に比べるとハードルは低いので、皆で小籠包を食べる例会も楽しいでしょうね。
- 新HPが山田桂子広報副委員長の尽力で出来上がってきています。会員ページの例会情報も充実していますので、是非アクセスしてみてください。
- 12月の予定は、12月14日帝国ホテルの対面例会、12月21日(月) 夕方帝国ホテルのクリスマス例会を準備しています。帝国ホテルでは今期例会開催が少なく迷惑をおかけしているので今後も対面プランを充実させたいと考えています。

ブレイクアウトセッション

(参加者が3,4人の小グループに分かれてそれぞれ近況やトピックな話題について交流する時間を持ちました)



大盛敬子 会員 本日例会欠席しますのでニコニコします。
安原良昭 会員 ニコニコは当クラブの大事なボランティア活動の財源となる一つで、皆さんご協力致しますのでお願いを込めてニコニコします。

にこにこ合計 4,000 円



「東北の旅(2019年8月)」

米山留学生

ナタリー・パスカル 様



【プロフィール】

オックスフォード大学日本語学科卒業、早稲田大学の修士課程でメディア研究をしています。

- オックスフォードでは、日本の古典文学に触れました。源氏物語、平家物語、枕草子、徒然草、万葉集などを翻訳して読みましたが、その中に東北を旅した松尾芭蕉の奥の細道がありました。

私は松尾芭蕉を研究するうちに、美しい自然が見られる東北地方に非常に興味を持ちました。

- 私は、まず汽車の旅へ出て、青森県へ行き、とても有名なねぶた祭を見ました。

オックスフォードの友達が、青森市に引越し県庁に勤めており、ねぶた祭を見に来ないかと誘われたのです。そして、友人と一緒に祭に参加することができました。ところが、後で誰でも参加できることを知りました。必要なのは祭用の衣服(浴衣)だけです。

ねぶたの後を行列を作って練り歩き、「ラッペラー」と叫んでリズムに合わせてジャンプします。ねぶたは青森市の中心部を3時間かけて廻るため、その間ジャンプして叫び続けなければいけません。夏の暑さと祭りの熱気の中で非常に大変ですが、私にとって忘れられない経験になりました。

- 2日目は、弘前城へ登り、夜は五所河原市のねぶた祭りへ行きました。基本的に青森ねぶたと同じですが、ねぶたの背がとても高く4階のビルと同じくらい(約20m)にもなることです。そのため五所川原市の中心部には電線がなく、背の高いねぶたが動き廻るようになっていきます。どこからでもねぶたが見られ、青森ねぶたほど混雑していませんでした。
- 3日目は、青森から車で3時間の恐山菩提寺を訪れました。菩提寺は火山活動でできたカルデラの上にあり、日本の神話ではあの世の一つの門と言われています。そのため有名な巡礼地として多くの参拝者が訪れています。菩提寺の廻りの地表は硫黄の成分によって地面は黄色や緑色をしており、火山ガスが充満しています。又、カルデラの湖も極楽のように美しいエメラルドグリーンですが、硫化水素によるもので有毒です。

その夜は青森市へ戻り、もう一度ねぶた祭が見たいと思い、友人のおかげで道路のすぐそばで見られる席を予約してもらえました。それは快適で最高の

眺めでした。

● 青森から東京へ帰る旅

青森へ行く方法としては新幹線を利用しました。しかし、東北内での移動に新幹線を利用するとすごく高くなりますから、平泉へ行った時はコストパフォーマンスがよく5日間使える「青春18きっぷ」を利用しました。年齢を問わず誰でも利用でき、この地区のJR全線の普通列車、快速列車が乗り放題です。

この切符を使って、青森から東京までの旅行を計画しました。4つの列車を乗り換えて6時間をかけて、経路は青森から平泉、山形県鶴岡市、宮城県仙台市の松島を廻りました。普通列車に揺られてゆっくり長く旅するのは嫌いではありません。音楽を聴きながら見た東北のまぶしく美しい緑は、生涯記憶に残る景色だと思います。

列車が秋田県を通過している途中、窓からいくつもの山が見え、谷や川が私の目の前を通り過ぎていくのが見え、その光景は清々しく心を浄化させ、私は信じられないくらいおだやかな気持ちにさせられました。

旅館についたときはすでに暗くレストランは閉まっている時間でしたが、ご厚意で郷土料理をいただきました。又、楽しみにしていた温泉にも浸かることができました。

- 翌日は達谷窟（たっこくのいわや）へ行きました。ここはお寺が崖の麓に建てられています。また、崖には大仏の顔が彫られていました。
- それから平泉の毛越寺へ行きました。建物はほとんど焼失していますが、とてもきれいな庭園が残っていました。

そのあと東北で最も有名な中尊寺へ行きました。850年に円仁が開山され、現在でも東北にある天台宗の本山とされています。

何世紀を経ても変わらない情景に心を打たれ、ここは別世界のように感じました。

最後に源義経を祀っている高館義経堂を訪れました。平家物語で義経を知っていたので、ここの祠も興味深く拝観致しました。

夕食にわんこそばや郷土料理の餅など岩手県の名物をいただき、充実した1日を終えました。

- 次の行先には鶴岡を訪れました。鶴岡で観たいところはただ一つで、羽黒山という修験道を中心にした山岳信仰の山です。奥の細道でも羽黒山を訪ねています。今は、有料道路があり、車やバスで簡単に頂上まで登れます。そこから2446段の石段を下ると五重塔が残っています。

五重塔は937年に建てられた東北地方最古のものです。頂上近くには芭蕉の像があり句碑も立っています。

帰り途茶屋によると、とても優しいおかみさんがおり、外国人の参拝者は珍しかったので、おかみさんと少しお話をしました。私が芭蕉に興味を持ち奥の細道に魅了されて旅行していることを話すととても驚かれました。石段認定証をいただくと、その裏に毛筆で芭蕉の句を書いて下さいました。その書はこの旅の一番の思い出になりました。

- その後、山寺（立石寺）を訪れ展望台からの景色を見ました。そこにも芭蕉が訪れており「閑さや岩にしみ入る蟬の声」の句碑がありました。現在の山寺は芭蕉の時代と同じではなく多くの観光客で賑わっています。しかし、山寺では美しい静かな自然を見られて幸せでした。

- 翌日は、日本の三景の一つである松島へ向かいしました。松の木に覆われた200以上の小さな島が点在し、遊覧船に乗って楽しみました。

東北で一番有名な臨済宗の禅寺があります。芭蕉は松島を訪れて俳句を詠みましたが、奥の細道には載っていません。それは松島に対する自分の敬意を示すためとも言われています。その句は、「島々や千々にくだけて 夏の海」。

- 旅の最後に伊達政宗公の霊廟瑞鳳殿を訪ねました。私は歴史がとても好きで、伊達政宗は戦国時代の強力な大名であり、興味がありました。

又、瑞鳳殿は、日光の東照宮に似た建築様式であると聞き、日光の霊廟は私が今まで見たことのある建物の中でも最も美しいものの一つであったため、是非見たいと思っていました。瑞鳳殿は桃山時代の華やかな様式で建てられており鮮やかな色が特徴です。

- 東北の旅の最後に仙台名物の牛タンのお店へ行きました。幸せそうなカップルの隣のカウンター席に座り、面白い出会いをした場所になりました。

彼らに旅の話をする、女性は青森市出身、男性は五所川原市出身と教えてくれ、両方とも私がこの旅で訪れた場所だったのでとても驚き盛り上がりしました。

結局彼らにご馳走になり、東北の旅を締め括りました。

翌日列車で7時間半かけて東京に到着いたしました。これで私の東北の旅が終了しました。

ご清聴ありがとうございます。

（要約文責 宮下）